

平成 30 年 4 月市長定例記者会見 記録

平成 30 年 4 月 25 日(水)

午前 10 時～午前 10 時 30 分

発表案件

1 佐渡産コシヒカリ「朱鷺と暮らす郷」おにぎり処穂まれやオープンについて

2008 年から始めました「朱鷺と暮らす郷づくり」認証制度は、今年が 10 周年となります。トキの放鳥開始からも今年で 10 周年を迎えるわけですが、おかげさまで「朱鷺と暮らす郷」の認知度も向上してまいりました。産地ブランドとしても定着してまいりました。

そこで、「朱鷺と暮らす郷」10 周年、食味ランキング 13 年連続佐渡産コシヒカリが特 A を獲得したことを記念いたしまして、この佐渡米の消費拡大、さらなる認知度の向上を図る取り組みとしまして、5 月 16 日の水曜日から、東京駅構内に佐渡産コシヒカリ「朱鷺と暮らす郷」おにぎり処をオープンいたします。

このおにぎり処では、すべてのおにぎりに「朱鷺と暮らす郷」の米を使用し、販売します。なお、具材にもこだわりの佐渡産食材を使用しまして、佐渡の味を首都圏の方に発信しようということでございます。

また、この 16 日の午前 11 時から佐渡市、佐渡農業協同組合、(株)鉄道会館、(株)日本レストランエンタプライズによりオープンセレモニーを開催いたします。

このおにぎり処では、世界農業遺産佐渡オリジナルのブランドマークの周知も行き、期間限定アンテナショップとして首都圏への PR を図って、さらなる認知向上、販路拡大に向かいたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

2 「佐渡は世界の宝島」首都圏イベントの開催について

5 月 19 日の土曜日、東京大崎のブライトコアホールにおいて、首都圏イベントを開催いたします。このイベントの主催は、新潟県と佐渡市、さらに世界遺産関連民間 3 団体の「(一社)佐渡を世界遺産にする会」、「佐渡を世界遺産にする新潟の会」、「佐渡を世界遺産にする首都圏の会」となります。

主な内容ですが、狩野泰一氏による篠笛のミニコンサートを予定しております。また、佐渡首都圏の大学連携校により「世界遺産を未来へ伝える」をテーマにした、佐渡の地域活性化の方策などを発表してもらいます。発表していただく大学は、発表順に言いますと、獨協大学、東京学芸大学、大正大学、日本大学の 4 校になります。

さらに、「世界遺産ー地域の宝から世界の宝へー」というテーマにしまして、既に世界文化遺産登録されております「熊野古道」と「石見銀山」の 2 地区の専門家と私から、鼎談(ていだん)の形で地域の宝であった文化財が世界の宝へ変貌したことが、その地域にどのような影響を及ぼ

したかを討論させていただく予定になっております。

また、この会場入口のホワイエにおきまして、佐渡観光 PR ブースと佐渡産品の物産展もあわせて開催いたします。首都圏にお住まいの方々から、この機会に足を運んでいただければと考えております。

入場については無料でございます。ただ、イベントへの参加は事前申込みが必要ですので、4月25日以降に、佐渡市の専用メールアドレス及びFAX、もしくは首都圏にお住まいの方であれば、「Yahoo! ジャパン」の首都圏イベント専用広告バナーからのお申し込みも可能となっておりますのでよろしく願いいたします。

平成32年度の世界遺産登録を目指す佐渡市としましても、首都圏においてこの登録へさらなる周知と応援をいただくためのイベントを開催していきますのでよろしく願いいたします。

3 「金の道ウォーク（大宮～日本橋日銀前）」の開催について

既に4月21日の土曜日に、埼玉県さいたま市大宮から蕨市（わらびし）までの、旧中山道の「金の道」をその主催者であります「佐渡を世界遺産にする首都圏の会」の会員の皆様を中心にウォークを実施しました。

今後でございますが、この機運醸成の一環としまして、今後もこのウォークを予定しております。佐渡市が後援するこのウォークのビジョンでございますが、このあと5月12日土曜日11時から、埼玉県の蕨市から東京の板橋、6月9日の土曜日11時から板橋から日本橋までという形でこのイベントを予定しております。

今年7月末に予定されております、世界遺産の国内推薦候補の発表へ向けて、県内外の方々に少しでもアピールできればというふうを考えておりますのでよろしく願いいたします。

4 田んぼアートの実施について

昨年に引き続きまして、朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会と佐渡市の主催で「田んぼアート」を実施させていただきます。今年の田んぼアートは、5色の苗を植えまして、稲が生育した7月中旬ごろに、デザインが浮かび上がってくる田んぼを使ったアート作品でございます。

この田んぼアートの日時は5月12日土曜日午前10時から、佐渡市新穂青木のほ場で行います。

今年のデザインにつきましては、新穂中学校の生徒から募集したデザインをもとに作成させていただいたものでございます。今年トキ放鳥10周年となりますので、それを祝うかのように、羽ばたくトキの背景に、世界文化遺産候補として申請した構成資産の1つであります「道遊の割戸」が入っており、今年こそ国内推薦に選ばれることへの期待も込められたデザインとなっております。

この5月12日のイベントの参加者でございますが、佐渡 Kids 生きもの調査隊、新穂中学校の生徒さん、「朱鷺と暮らす郷」の生産農家など、関係者約100名が参加する予定でございます。

また、当日参加予定の新穂中学校の2年生には、その前の4月27日に事前の授業も行います。講師は長畝生産組合の理事である大井克巳さんを迎え、佐渡の農業や食育などについて学んでいただく予定になっております。

5 2018 スポニチ佐渡ロングライド210の開催について

先日4月22日に開催されました佐渡トキマラソン2018は全国各地から2,268名の選手をお迎えして、大きな事故もなく無事終了することができました。市民の皆様には交通規制等でご不便をおかけしましたが、色んな形でご協力をいただきまして本当にありがとうございます。また、沿道からも多くの声援をいただきまして、大会を盛り上げていただいたことに、この場を借りまして改めて御礼申し上げます。

また、今年で13回目を迎えるロングライドでございますが、開催は5月20日の日曜日となります。当日は午前5時30分に、河原田小学校グラウンド横の海岸線からスタートし「佐渡うみかぜライン」へ向かいます。

エントリー数は、合計で3,493人、このうち島外からのエントリーが3,040人、島内の方が453人となっております。この島外からの参加者の内訳ですが、北は北海道から南は沖縄まで、また海外からも5人の方のエントリーがございます。今後さらに、海外からの参加者が増加するものと期待しております。平成18年、第1回の大会が開催された時は、参加者933名でしたので、その時と比べますと参加者の数も3倍強になって、国内最大級のイベントとなってきたことを嬉しく思っております。

また、大会前日の5月19日土曜日には、午後3時45分から河原田小学校グラウンドで前夜祭が行われます。鬼太鼓などの郷土芸能披露やゲストによるトークショーも行われますのでよろしくお願ひします。また、参加者にはトキ認証米など佐渡の特産品やスポンサーからの豪華景品があたる抽選会も行う予定でございます。

大会当日は、それぞれのエイドステーションにおきまして、佐渡の食材をふんだんに使った補給食の提供、汁物のサービスなど、おもてなしの心で選手の皆様をお迎えしたいと考えております。

また、今回のロングライドのDコースでございますが、今回から折り返し地点を佐渡金山の入り口付近に変更し、金箔入りソフトクリームのサービスも計画しております。

なお、Aコースとなる県道佐渡一周線でございますが、野浦地区において落石のため現在通行止めとなっており、復旧のめどが立っておりません。そのためAコースにつきましては、当初の予定コースを変更するための調整を行っております。その内容が決定いたしましたら速やかに皆様にも周知したいと考えていますのでよろしくお願ひいたします。

また、コースとなる道路は、多くの自転車が走行するため、車両の通行にご迷惑がかかることもあるかと思ひます。市民の皆様におかれましては、ご不便をおかけすることになりますが、参加者や市民の皆様の安全のため、5月20日はノーカーデーにご協力をいただけますよう、なにと

ぞよろしく願いいたします。

事前質問

1 新潟交通佐渡の不当労働行為について

① どう思うか？

新潟交通佐渡の今回の問題につきましては、佐渡市はこの件に関してコメントをする立場にはないと考えておりますが、労働基準監督署からの是正勧告を交付されておりますので、それに対して適切な対応をお願いしたいと考えているところでございます。

② 佐渡市から出ている補助金の見直しをするか？

平成 29 年度までの補助金については実績算定による補助額で既に完了しており、影響することはありません。平成 29 年度までの過払い賃金を支払うことになれば、全額同社の負担となります。また、30 年度分については是正された場合、その額での実績算定となります。佐渡市としましては、今後とも補助金対象経費について、適正に処理されるよう指導してまいる考えでございます。

③ 社長が佐渡観光交流機構の副会長になっているが据え置くのか？

この理事の役職につきましては、佐渡観光交流機構の団体としての判断ということになります。あくまでも、同団体の理事会の中で決定されるべきものでございますので、佐渡市として回答することは控えさせていただきたいと思っております。

質疑応答

1 佐渡産コシヒカリ「朱鷺と暮らす郷」おにぎり処穂まれやオープンについて

記者：

朱鷺と暮らす郷だけに限らず、朱鷺のマークですとかデザインに関する全般のことでお伺いしたいんですが、他に佐渡乳業さんですとかデザインを使っているところもあると思うんですけど、そういった朱鷺を利用することによるブランド効果みたいなものですか、製品の広がり具合というものはどのように評価していますでしょうか。

あと、市として今後それをどういった方向で広げていきたいというふうな、どういうお考えをお持ちかお聞かせいただけますか。

市長：

例えば朱鷺と暮らす郷のこういう丸いシンボルデザインでございますが、あれについてはそれぞれ JA さんがデザインしながらこれまで定着させていただいたものでございますし、一定の認知度もしっかり広がってきていると思います。例えばその佐渡乳業さんの牛乳のパッケージなんか朱鷺をマンガチックに模って空になった後も、おもしろがられるような形にさせていただいてお

ります。その辺色々な工夫をされているわけですが、先月発表させていただいた、佐渡としても、世界農業遺産にちなんだジアスのブランドマークを作成させていただきましたので、まずこれは佐渡の中で佐渡産としての品質を一定程度保障された品質のハードルをクリアしたものに對してしっかりこのブランドマークを付けていただくということで、これはもう佐渡産の品質を保証されたマークだということを今後徹底して全国の中で知っていただくことに努力を続けたいということでございます。

記者：

新潟県では魚沼産コシヒカリが首都圏では有名だと思んですが、こういった東京駅の構内に新潟県のお米を使ったおにぎり処を置くというのは、初めてになりますか。

産業観光部長：

申し訳ありません。今初めてかどうかというところの確認ができておりません。確認を取るよういたします。

記者：

設置の主体は市ということでしょうか。

市長：

おにぎり処の経営主体というか運営主体は、(株)日本レストランエンタプライズさんが運営していただくという形で、そこに対して佐渡農業協同組合のほうから朱鷺認証米を提供するという形です。

記者：

店が2つあるんですけど、もうちょっと具体的にどういう形なのか教えていただけますか。

農業政策課販売流通係長：

2店舗の内訳なんですけど、1つがテイクアウトのおにぎり専門店、もう1つがそれに併設していますそば屋ということになっています。そば屋の中もおにぎりを販売するという形をとります。

記者：

つまり、そば屋と米屋というのは関係があって、そば屋でそばを食いながらおにぎりも食うということなんですか。

農業政策課販売流通係長：

経営が同じです。

市長：

隣の店舗なので、合わせ技でやっていただくということです。

2 「佐渡は世界の宝島」首都圏イベントの開催について

記者：

金山の取り組みに関連する質問なんですが、昨年ですと関係自治体にあたる機関の方々が官房長官ですとか文科省のところに要望に行かれたかと思うんですけども、そういった予定はおありでしょうか。

市長：

はい。もちろん今回も要望活動はする予定でございます。その日程調整を今続けている最中で、まだ確定してないという状況です。

3 「金の道ウォーク（大宮～日本橋日銀前）」の開催について

なし

4 田んぼアートの実施について

なし

5 2018 スポニチ佐渡ロングライド210の開催について

記者：

その佐渡一周線の開通の目処はたったんですか。

市長：

現状、正直申しましてロングライドの開催日までの復旧は、かなり厳しい状況だということを新潟県佐渡地域振興局のほうからも報告をいただいております。基本的にはコースの一部変更をせざるを得ない状況かと思えます。その迂回路を含めて、今どうするか協議中でございますので、もうしばらくしたら最終確定はできると思えますが、たぶん従来通りのコースは今年はちょっと厳しいかなというのが現在の状況です。

事前質問に関する質疑

なし